

君曰鳥獸之尻以示本非人體之字也那波本之利太无良作之利無太按之利太无良與類聚名義抄伊呂波字類抄新撰字鏡合欽明紀尻臀醫心方尻臀肉字鏡抄尻字醫字撮壤集髻字皆訓之利多不良今俗有毛々太夫良之語又類聚名義抄膊字訓之利牟多撮壤集臂字訓之利不多今俗呼之利古夫良或呼之利倍多蓋之利古夫良即之利太无良之譌之利倍多即之利無太之譌也

〔物類稱呼一倫〕尻之り 相模の三崎にてでんぼと云備後にてこつべといふ伊豫にてつべといふ

〔伊呂波字類抄爲人體〕醫豚亦作尻膿膿宜脰〔同志體〕睨尻也 尿獸尻也亦作尻 醫 居行已上同

〔增補下學集上二〕醫

〔下學集上二〕臄臀尻 義同

〔身體和名集以〕イサライ イシキ 醫

〔身體和名集遠〕ヲイド 尻

〔增補下學集上二〕尻片 屎

〔經穴纂要五〕周身名位骨

尻 人鏡曰八膠盡分各處爲尻金鑑曰尻骨者腰骨下十七椎十上寬下窄末節更小如人參蘆形名尾闕一名骶端一名概骨一名窮骨肛門後其骨上外兩旁形如馬蹄附著兩骨上端俗髻骨

〔古事記上〕食物乞大氣津比賣神爾大氣都比賣自鼻口及尻種々味物取出而種々具作而進時速須佐之男命立伺其態爲穢汚而奉進乃殺其大宜津比賣神

〔古事記傳九〕尻同書名抄に尻和名之利とあり此如く訓べし尻を古書に凡て加久禮と思ひて嫌

へるものなりそが皇の大前にして書紀などを讀奉る時に思はしき言鄙き言ときこそ然あるべきけれ本にさへ其訓をつけむことはいかなり之理に用ひたれば異さまの訓あるべからず書紀に